

1. 第3次総合計画における施策の体系									
目指す都市像(政策)	番号	8	名称	持続可能な環境をつくるまち					
施策	番号	3	名称	斎場・墓園の有効利用					
主担当部	生活環境部		主担当課	環境衛生課		部長名	森田 泰造		
関係部	—		関係課	—					
2. 施策の基本方針(第3次総合計画の基本方針をもとに記入する)									
この施策の目的	市民の生活に密接し、かけがいのない施設である市営斎場をスムーズ並びに円滑に運営を行い、市営香久山墓園を整備し、適正な管理をすることにより市民サービスに寄与する。								
3. 施策の現状分析(第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する)									
この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、具体的な事項について				社会環境や国・県の動向など、施策を取り巻く環境について				
	市営斎場の火葬設備等の定期的な保守点検により安定した火葬業務を持続でき、設備の適切な維持管理に努めることにより市民の要望に応える。市営墓園への墓参者に気持ちよく安心して迷惑をかけないよう維持管理を行い、墓地利用者への使用上の各届出・手続きを迅速に行うことにより市民ニーズに応える。 また、返還墓地の販売及び新規墓地の築造を行う。				市営斎場の葬祭場の使用件数が、充実された民間葬祭場の利用の増加により減少している。墓地に関しては、少子高齢化・核家族化が進む中で、従来の家制度にこだわらず、承継者が不要で安心して多くの人々が一緒に眠ることができる合葬式墓地の希望がふえている。				
これまでの成果									
4. 指標及びコストの推移									
	名称及び単位等	23年度	24(評価)年度		25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	備考欄	
		実績	目標	実績	目標	目標	目標		
指標の推移	施策指標①(成果指標)	斎場等使用件数	114件	115件	110件	120件	120件	125件	
	施策指標②(成果指標)	香久山墓園未造成区画数	426区画	426区画	426区画	426区画	426区画	245区画	
	施策指標③(成果指標)								
	施策指標④(成果指標)								
	施策指標⑤(成果指標)								
コストの推移(単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	見込み	
	歳出(直接事業費)(a)		243,017	112,286	110,136	201,612	228,119		
	歳入(b)	受益者負担額	314,438	76,173	89,958	139,283	102,543		
		国や県からの補助金その他							
	(a) - (b) = 一般財源		-71,421	36,113	20,178	62,329	125,576		
	正職員	従事者数(単位:人)	2.55	2.85	2.85	2.70	2.70		
		人件費(c)	15,973	17,679	17,679	16,748	16,748		
	トータルコスト(a) + (c)		258,990	129,965	127,815	218,360	244,867		

5. 施策の評価						
有効性の評価	この施策の成果の達成度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の可能性はどうか	2	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	市営斎場の使用件数はやや減少しているが、市民より要望があった合葬式墓地の完成により、24年度より受付を行い目標の申込件数より多かったため、達成度はやや高い。				
	市政全般に対する貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	火葬場は市民生活に欠くことのできない重要施設であり、市内唯一の施設でもあることから適正な維持管理運営を行うていくことは、非常に重要かつ不可欠であり貢献度は高い。				
6. 施策の課題						
この施策の課題	市営斎場が完成してから26年を経過しており、火葬場施設を含めた各設備の老朽化が進んでおり、定期点検から不具合が発見された場合には、その都度修理を重ねながら対応している状況であり、大規模修理が必要である。					
7. 次年度以降の施策の方向性						
総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	1	1 強化する	2 維持する	3 縮小する	
	説明	市営斎場の老朽化が進む施設の計画修繕を行う。 返還墓地(2.7㎡)の販売を行う。				
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する	
	説明					
8. 構成事業の方向性 (それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する)						
1次評価	説明	市営斎場管理運営事業は、各施設の設備延命化のため改修を強化していく。 墓園施設管理事業は、合葬式墓地の申込を継続して行う。一般墓地の維持管理費徴収を見直し継続して行う。 墓地造成販売事業は、新規及び返還墓地の計画的築造及び販売を行い、市民のニーズに応える。				
2次評価	説明					

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

※下記評価の解説

- ・貢献度—事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性—事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。
(拡大する、見直しながらかつ続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)—施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。
(優先度が高い順に A、B、C、D)

(ソフト事業、内部管理・維持管理事業)

課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類 (転記)	事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
					貢献 度	方向性	優先度 (ソフト任意)
環境衛生課	ソフト 義務	斎場は1月1日、2日を除き、午前9時から午後5時まで事務所で予約受付を実施している。利用者には、本庁にて死亡届・埋火葬許可申請書等の書類提出及び料金の支払後に火葬許可書等必要書類を持って斎場に行って、火葬・収骨をしていただく。火葬炉等の点検・補修、葬祭場・家族葬祭場・待合室等の管理運営。	65,987	2	a	拡大する	
市営斎場管理運営事業	ソフト 任意						
	○ 内部管理・維持管理						
課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類 (転記)	事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
環境衛生課	ソフト 義務	墓参に支障のないように通路・水路の浚渫・草刈等を行う。未建立墓地の管理状況を調査し、草刈等の未実施使用者に通知を行い維持管理の促進をする。また、墓園内の衛生害虫駆除、維持管理のための管理料の徴収、一般墳墓利用者の使用上の届出・諸手続き等を行う。平成24年度からは合葬式墓地の管理運営も行う。	40,243	2	a	見直しながらかつ続ける	
墓園施設管理事業	ソフト 任意						
	○ 内部管理・維持管理						

(ハード事業)

課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類	事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
					貢献 度	方向性	優先度 (ソフト任意)
環境衛生課	ハード	合葬式墓地の建設・墓園センターの改修・周辺整備工事・返還墓地の整備・新規墓地の建設。	3,906	1	b	継続する	—
墓地造成販売事業							

平成25年度作成 平成24年度事務事業評価表

(作成日:平成 25年 6月 11日)

ソフト事業(義務)		ソフト事業(任意)		○ 内部管理・維持管理事業			
事務事業名	市営斎場管理運営事業						
担当課名	環境衛生課		課長名	小山 隆彦			
総合計画の位置付け	目指す都市像	8	持続可能な環境をつくるまち				
	施策	3	斎場・墓園の有効利用				
予算事業名	斎場管理運営費						
事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成 年度		
対象	市営斎場利用者		事業の内容説明	斎場は1月1日、2日を除き、午前9時から午後5時まで事務所で予約受付を実施している。利用者には、本庁にて死亡届・埋火葬許可申請書等の書類提出及び料金の支払後に火葬許可書等必要書類を持って斎場に行って、火葬・収骨をしていただく。火葬炉等の点検・補修、葬祭場・家族葬祭場・待合室等の管理運営。			
事業の目的	斎場等の設備の適切な維持管理に努め、火葬及び葬儀による斎場利用等に係わる業務を円滑に遂行する。						
この事業を行うことは妥当か	なぜ市が関与しているのか	2	1 義務	法律等(条例を除く)で義務付けられた事業			
			2 任意	公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業			
	説明	火葬は市民生活にとって欠くことのできない重要施設であり、生活環境に支障を生ずることのないよう市が関与している。					
やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 ある程度はある	3 克服できる範囲内	4 ほとんどない		
		説明	火葬場が市内唯一の施設であるため、取りやめた場合影響は非常に大きい。				
指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度	25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度
			実績	計画	実績	見込み	見込み
成果指標	火葬件数(件)		1,409	1,410	1,489	1,410	1,410
活動指標①	斎場等使用件数(件)		114	115	110	115	115
活動指標②							
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み
	歳出(直接事業費)(a)		79,688	66,072	65,987	92,719	173,043
	歳入(b)	受益者負担額	37,088	37,300	38,622	37,800	37,800
		国県補助金等その他	0	0	0	0	0
	(a) - (b) = 一般財源		42,600	28,772	27,365	54,919	135,243
	正職員	従事者数(単位:人)	1.05	1.25	1.25	1.20	1.20
		人件費(c)	6,577	7,754	7,754	7,444	7,444
	トータルコスト(a)+(c)		86,265	73,826	73,741	100,163	180,487
単位当たりコスト	計算式等						
備考(これまでの実績等)							

CHECK	有効性評価 事業は有効か (指標に出ない効果)	成果は向上しているか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	火葬件数がほぼ横ばいであり、成果はやや低い。						
		上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
評価	効率性評価 経費削減は可能か		1	1 全くできない	2 あまりできない	3 少しはできる	4 大きくできる		
		説明	斎場ができて26年経過しており、設備の老朽化が目立っています。今後計画的に大規模修理を要するため、低減余地はない。						
ACTION	具体的にどうすることにより(手段)	平成25年度:受電ケーブル関係更新 平成26年度:非常用自家発電機OH及び建物屋上防水修繕工事 平成27年度:回廊屋根修繕工事							
	どんなことが期待できるか(効果)	平成26~28年度火葬炉耐火材全面及び燃烧部品更新 経年劣化による事故の未然防止、施設の延命が図られ今後も事業を滞りなく継続できる。							
修正行動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながら続ける	3 縮小する	課内優先度	-		
			4 廃止又は休止する	5 完了する					
	説明	斎場施設の長期整備計画をたてて各施設の設備の延命化を図る。							

平成25年度作成 平成24年度事務事業評価表

(作成日:平成 25年 6月 11日)

ソフト事業(義務)		ソフト事業(任意)		○ 内部管理・維持管理事業				
事務事業名	墓園施設管理事業							
担当課名	環境衛生課		課長名	小山 隆彦				
総合計画の位置付け	目指す都市像	8	持続可能な環境をつくるまち					
	施策	3	斎場・墓園の有効利用					
予算事業名	市営墓園管理費							
事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成 年度			
対象	市営香久山墓園利用者		事業の内容説明	墓参に支障のないように通路・水路の浚渫・草刈等を行う。未建立墓地の管理状況を調査し、草刈等の未実施使用者に通知を行い維持管理の促進をする。また、墓園内の衛生害虫駆除、維持管理のための管理料の徴収、一般墳墓利用者の使用上の届出・諸手続き等を行う。平成24年度からは合葬式墓地の管理運営も行う。				
事業の目的	市営香久山墓園に来られる方々に気持ちよく墓参していただく。							
この事業を行うことは妥当か	なぜ市が関与しているのか	2	1 義務	法律等(条例を除く)で義務付けられた事業				
			2 任意	公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業				
			3 任意	市が関与することは妥当でない(縮小、廃止又は民営化すべき)事業				
	説明	墓園管理において、使用者からの管理料5千円のみ徴収で、墓園内の整備・水路の修繕・墓参路周辺の草刈等の人件費を賅っているため、民間では到底不可能である。						
やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 ある程度はある	3 克服できる範囲内	4 ほとんどない			
		説明	市民の方にとっても安価な管理料で墓園を管理してもらうことができ、とりやめると市民の方にも影響が出る。					
指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度		25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度
			実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
成果指標								
活動指標①	管理料徴収件数(件)		5,503	5,500	5,506	5,580	5,650	5,800
活動指標②	合葬式墓地申込件数(件)		-	34	206	120	60	50
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	
	歳出(直接事業費)(a)		135,471	42,714	40,243	86,986	46,377	
	歳入(b)	受益者負担額	139,100	38,873	51,336	41,983	37,243	
		国県補助金等その他						
	(a) - (b) = 一般財源		-3,629	3,841	-11,093	45,003	9,134	
	正職員	従事者数(単位:人)	1.10	1.40	1.40	1.25	1.25	
		人件費(c)	6,890	8,684	8,684	7,754	7,754	
	トータルコスト(a)+(c)		142,361	51,398	48,927	94,740	54,131	
単位当たりコスト	計算式等							
備考(これまでの実績等)								

CHECK 評価	有効性 評価 事業は有効か (指標に出ない効果)	成果は向上しているか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	使用者に墓地内の草刈をお願いをしているにも関わらず、隣の墓地所有者より草が生い茂っているとの苦情および駐車場が少ないとの苦情の他は概ね成果は高い。						
	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	事業が円滑に行われているため、貢献度は高い。						
評価	効率性評価	2	1 全くできない	2 あまりできない	3 少しはできる	4 大きくできる			
	経費削減は可能か	説明	広報等強化することで、草刈未実施者への意識向上を図りコスト削減が期待できる。						
ACTION	具体的にどうすることにより(手段)	平成23年度に墓の継承者問題の解消をするため一般墓地のほかに合葬式墓地を建設し、お墓をお持ちでない方にも焼骨を埋蔵できることにより利用も増えてくる。							
	どんなことが期待できるか(効果)								
修正行動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながら続ける	3 縮小する	課内優先度	-		
		4 廃止又は休止する	5 完了する						
	説明	墓地利用者の駐車場の確保、墓参路の排水改修等の維持管理を行う。							

○

ハード事業

P L A N 計 画	事務事業名	墓地造成販売事業						
	担当課名	環境衛生課			課長名	小山 隆彦		
	総合計画の 位置付け	目指す都市像	8	持続可能な環境をつくるまち				
		施策	3	斎場・墓園の有効利用				
	予算事業名	市営墓園管理費						
	事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成	年度	
事業の目的	墓園建設事業地である地元の理解及び協力を得て、計画的に墓地造成・拡張工事の実施。合葬式墓地建設・返還墓地整備。		事業の内容説明 (全体計画)	合葬式墓地の建設・墓園センターの改修・周辺整備工事・返還墓地の整備・新規墓地の建設。				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度	25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度
				実績	計画	実績	見込み	見込み
	活動指標①	新規築造墓地販売数(基)		108	-	-	-	100
	活動指標②	返還墓地販売数(基)		121	-	-	70	50
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み
	歳出(直接事業費)(a)		27,858	3,500	3,906	21,907	8,699	
	歳入(b)	受益者負担額		138,250		59,500	27,500	
		国県補助金等その他						
	(a) - (b) = 一般財源		-110,392	3,500	3,906	-37,593	-18,801	
	正職員	従事者数(単位:人)		0.40	0.20	0.20	0.25	
		人件費(c)		2,506	1,241	1,241	1,551	
	トータルコスト(a)+(c)		30,364	4,741	5,147	23,458	10,250	
	単位当たりコスト	計算式等						
備考 (これまでの実績等)	平成23年度末現在で墓地築造数 5,574基、そのうち3,371基(2.7㎡)、2,203基(3.3㎡)							
C H E C K 評 価	(費用も含み)目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定どおり	2 概ね予定どおり	3 達成できていない			
		説明	墓園事業を進める中で、当初から10年はほぼ毎年販売を行ってききましたが、最近約5年間は2年おきに返還墓地の整備を行い再販売もおこなっており、計画的に墓地希望者の動向を見ながらニーズにあった合葬式墓地も建設し、平成24年度より販売をおこなっている。					
A C T I O N 修 正 行 動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	4 完了する		
		説明	墓園内の駐車場が手狭となっており、墓参者にも不便をかけており、返還墓地の整備及び販売も引続き行くと共に駐車場の拡張工事及び新規墓地の築造工事も行っていく。					